

使用前には必ず本使用説明書を読み、記載事項を守って使用して下さい。

## 動物用医薬品

2019年5月改訂

貯法	2～10℃
----	-------

承認指令書番号	25動薬第1462号
販売開始	平成24年11月

動物用生物学的製剤

劇薬 要指示医薬品 指定医薬品

# グレーサーバスター®

(ヘモフィルス・パラシス(2・5型)感染症(アジュバント加)  
不活化ワクチン(シード))

### 【本質の説明又は製造方法】

本剤はヘモフィルス・パラシス長野N11-2株(血清型2)およびZK-長崎-2株(血清型5)のそれぞれを製造用培地で培養、ホルマリンで不活化した後に遠心集菌し、それらの菌体浮遊液にアジュバントとして水酸化アルミニウムゲルを添加したものです。

### 【成分及び分量】

ワクチン 1mL中

成分		分量
主剤	ヘモフィルス・パラシス 長野N11-2株(血清型2) (シード)	5×10 <sup>8</sup> 個以上 (総菌数)
	ヘモフィルス・パラシス ZK-長崎-2株(血清型5) (シード)	5×10 <sup>8</sup> 個以上 (総菌数)
不活化剤	ホルマリン	2.5μL以下
アジュバント	水酸化アルミニウムゲル	アルミニウム量として 0.92～1.62mg
溶剤	リン酸緩衝食塩液	残量

### 【効能又は効果】

ヘモフィルス・パラシス血清型2菌及び5菌の感染によるグレーサー病の予防

### 【用法及び用量】

30日齢以上の豚に2～4週の間隔で1回1mLずつを2回、筋肉内に注射する。

### 【使用上の注意】

(基本的事項)

- 守らなければならないこと(一般的注意)
  - 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
  - 本剤は、効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
  - 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。

(使用者に対する注意)

- 事故防止のため、作業時には防護メガネ、マスク、手袋等を着用すること。
- 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

(豚に関する注意)

- 本剤の投与前には健康状態について検査し、重大な異常(重篤な疾病)を認めた場合は注射しないこと。
- 豚が、次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与の適否の判断を慎重に行うこと。
  - 発熱、下痢、重度の皮膚疾患など臨床異常が認められるもの。
  - 疾病の治療を継続中のもの又は治癒後間がないもの。
  - 交配後間がないもの、分娩間際のもの又は分娩直後のもの。
  - 明らかな栄養障害のあるもの。
  - 他の薬剤投与、導入後間がないもの。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 本剤には他の薬剤(ワクチン)を加えて使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 直射日光又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ワクチン容器のゴム栓は消毒し、無菌的に取扱うこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分の許可を有した業者に委託すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

### (使用者に対する注意)

- ・誤って人に注射した場合は、患部の消毒等適切な処置をとること。誤って注射された者は、必要があれば本使用説明書を持参し、受傷について医師の診察を受けること。

### 本ワクチン成分の特徴

微生物名	抗原		アジュバント	
	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
ヘモフィルス・パラシイス (血清型2及び5)	否	死	有	水酸化アルミニウムゲル

本ワクチン株は、不活化されており感染性はない。

- ・ワクチン瓶は破損するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
- ・開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。

### (豚に関する注意)

- ・注射部位を厳守すること。
- ・注射部位は消毒し、注射時には注射針が血管に入っていないことを確認してから注射すること。
- ・本剤の投与後、少なくとも1～2日間は安静に努め、移動や激しい運動は避けること。また、温度管理等に十分に注意し、豚に与えるストレスの軽減に努めること。
- ・副反応が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

### (取扱いに関する注意)

- ・注射器具（注射針）は原則として1頭ごとに取り替えること。
- ・一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
- ・使用時よく振り混ぜて均一とすること。

### (専門的事項)

#### ①その他の注意

- ・本剤はシードロットシステムにより製造され、国家検定を受ける必要のないワクチンであるため、容器又は被包に「国家検定合格」と表示されていない。

## 【有効期間】

製造後3年3か月間（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）

## 【包装】

1 ガラスバイアル 100mL（100頭分）

## 【製品情報お問い合わせ先】

株式会社 科学飼料研究所 動薬部  
〒370-1202 群馬県高崎市宮原町3-3  
TEL 027-347-3223  
FAX 027-347-4577

製造販売元



株式会社 科学飼料研究所  
東京都中央区八丁堀三丁目3番5号

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発症に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。